

05-11-04

環境 WG 重要検討項目（村岡メモ）(05-11-04 会議用)

資料「環境 WG 検討課題」に沿って考察する。

1. 自然環境に関して

- ・ 現在検討中の治水対策（河道対策、流域対策）に関する課題を重点化する。
- ・ 河道対策（河道整備計画）において保護すべき生物や自然の項目と、それを保全すべき地点と注文を付けるべき構造等を明らかにすべきである。（工法等、施工面は次の段階）
- ・ 流域対策に対して、流域全体を対象として詳細な生物資料は急務でない（また、困難である）。森林、農地（水田）、ため池、（遊水池）に関して課題を絞る。森林については、森林対策の討議内容に注目する。
- ・ 河道の現存河川構造物のうち、自然環境に大きな影響を与えている重要構造物について事例的に改善構想をまとめる。（例：潮止め堰）

2. 水収支・水循環の健全性

- ・ 河道整備計画の具体的討議に合わせ、低水管理の検討は急ぐ。まずは、平低湯流量特性の統計資料と瀬切れ・断流の観測記録の入手。
- ・ 流域（特に低平な都市部）の内水問題の実態と下水道の関係についての知識共有が必要。これに関する資料入手が急務。
- ・ 水収支は健全性総括論議に必要なだが、急がない。

3. 水質とモニタリング

- ・ 流域全体の環境監視（環境モニタリング）は現状で安全か、安心できるか、という視点で検討を進める。最終的には流域マネジメントのあり方をまとめる。

4. 河川整備計画に関連する環境問題

- ・ 総合治水 WT の検討内容に注目する。

〔全般的なもの〕

- ・ 「項目 D」の検討課題として取り上げる必要性を重視。「まちづくり WG」とも関連。

以上